

刊夕 日五月一十



定額一圓全額一ケ一 送料郵費五圓
 印刷所 常磐毎日新聞社
 発行所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇
 印刷部 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇

山崎翁を讃へて

聖代の祥事也

平町長 青沼鋒太郎

平町農會顧問山崎與三郎翁頌徳碑建設竣功を告げ明治節の佳辰を下し除幕式を舉行せらるゝに際し、不肖亦末席に列し祝意を表するを得るは洵に光榮とする所なり、惟うに先進の善行美事を稱揚し世人をして感奮興起せしむるは極めて有意義なる企圖にして今回平町農會の舉行せるこの祝典の如きは聖代の祥事として慶賀に堪へざるなり。

翁や性來温厚篤實敬神崇祖の念最も篤く議員として町政を參與せしこと三十有餘年、又平町農會會長として二十有九年の長き記録を有し、此の間町是のため興農のため献身的の努力を拂はれ實績の顯著なるは何人も首肯し感激する處にして、其他實業方面の要職として樞要の地位に在りたるは爰に繰述するの煩を略するも世人の知悉するところ其の圓滿なる典型的人格者たるは吹々するを要せず、特に郷土のために私財を捧げて社會公共事業に盡され彼の育英事業に奉仕の大精神を

以て其の純情を示されたるが如き、實に吾人の感佩措く克はざる所にして、褒賞條例に依る表彰を受けられ又勅定の綬綬褒章を下賜せらるゝ等翁の善行政績に違あらず、眞に地方の龍鑑にして爰ぞ凡庸の企て及ぶ處ならんや、翁は言行一致寡言實行の人之感化靈化は以て農會の後繼者をして奮起追従せしむるや必也り町農會が卒先斯の名譽の人をして撰擧せんとするは誠に時機を得たる美譽なりと謂ふべし、翁長壽にして富貴家門益々繁榮是天爵と云ふべきなり、聊か燕言を陳へて祝辭とす。

昭和十一年十一月三日
 平町長 從五位 青沼鋒太郎
 副町長 從五位 青沼鋒太郎

碑の偉觀徳を頌す

平町會議員 井上茂作

時は是れ錦秋日之れ明治節の佳辰平農會の山崎與三郎翁の頌徳碑工成り除幕式を舉行せらるゝに當り参列するを得たるは光榮とする處なり。翁の性格は世己に之を知る敢て叙するの要なきも容儀典雅態度嚴人に接する

季節料理 よせなべ

かきなべ	三〇	煮込みなべ	三五
いななべ	同	豚なべ	三五
ねぎまなべ	同	鳥なべ	同
あんなべ	同	あび天ふら	三五
ちりなべ	三五	あび天どん	三五
あなごちりなべ	三五	あきふらい	三五
たらちりなべ	同	かきふらい	三五
酔のもの	二〇	あんこも酔	二〇

その他
 煮込みなべ 三五
 豚なべ 三五
 鳥なべ 同
 あび天ふら 三五
 あび天どん 三五
 あきふらい 三五
 かきふらい 三五
 あんこも酔 二〇

魚清食堂

御祝儀、御法事の仕出し 廉價に御引受け致します

平二警察署裏通り
 電話 六三〇

皆様にいたゞいた ウマイ店 サロンの 名にそむかない 御 献 立

カキ料理	
カキフライ	25
カキプロセット(串差蒸シ物)	30
カキグラタン(白ソース蒸焼)	35
車エビ料理	
エビフライ	30
エビオムス(天ぷら)	30
エビオムス(天 井)	35
牛肉料理	
ステーキ	50
ステーキ	40
ステーキ	35
ステーキ	25
定評ある野菜サラダ	25
ハイキングニ定評あるサンドウイッチ	40より70迄

※皆様の御満足のためには、サロンの特別御献立で御座います。出前の御用命は(電話三三二番)を御利用下さいませ

レストラン イハキサロン
 平町電話 352番

吉田眼科病院

平町電話 六三〇番

醫學士 吉田久雄

ほねつぎ 桑原柔道養生院

平町電話 六三〇番

福祿ストロップ福引

景品総額五萬圓

期間昭和十一年九月廿五日ヨリ十二月十二日まで

福引券 出規定

景品引換ニ最寄ノ代理店ニテ景品ト引換致シマス

福引券一千枚ヲ以テ一組トシ當選ノ景品

一號 大衆(中型)寶(大小)各一本ニ付一枚	二號 大衆(大型)各一本ニ付二枚	三號 各一本ニ付三枚	四號 各一本ニ付四枚
-----------------------	------------------	------------	------------

抽籤發表 昭和十一年二月十一日 東京朝日新聞 發表致シマス。

福引券引換ニ最寄ノ代理店ニテ景品ト引換致シマス

景品 福引券一千枚ヲ以テ一組トシ當選ノ景品

一等 百圓	二等 五十圓	三等 拾圓	四等 五圓
一等 一本	二等 一本	三等 一本	四等 一本

福祿ストロップ販賣代理店 空鐵ナシ

平町五丁目 笠屋商店

阿部石炭商店

職業紹介に

相互の理解を

深める協議會

平職業紹介所は八日午前十一時より平町會議室に於て本郡並に双葉、相馬の一部聯絡町村事務打合せを開き約四十ヶ町村關係者並各炭礦銀行、會社、工場人事係の出席を求めて紹介所利用の状況並に實際を協議し求人求職の取扱に對する誤れる見解を一掃して紹介所の組織體を明らかにし相互の理解を深めんとするもので紹介デーの十日は四區

分に別けて男女青年團、在郷軍人其他が協力してポスター、ビラを要所に張り求人開拓を計る管で銀行、會社、工場には文書を配布し主旨の普及を計り聯絡町村以外の町村及び田村郡東部にも文書を送附して頼る機關としての紹介事業の主旨の徹底普及に努力することになった

有権者増加

選挙名簿の縦覧

けふから開始さる

平町役場は衆議院議員並に町會議員選挙の資格人名簿を本五日より十五日間役場内で一般に縦覧せしめる事になったが有権者数は衆議院が四千六百七十九名、町會が四千四百十名で昨年度に比し衆議院百七十名、町會が百十三名何れも増加した是れは本年より實施された選挙法改正の結果有権者の範圍が擴大した爲めである、市内各區の資格者數左の如くである

衆議院 町會
長 橋 一六四 一五

研古	二二九	二二二
紺屋町	一七二	一六七
田町	二〇九	一九九
一丁目	一〇〇	九九
二丁目	一一一	一一一
三丁目	一〇一	八七
四丁目	九七	九五
五丁目	二四	一九
新川町	一九七	一八五
材木町	二一五	一九三
鍛冶	二二七	二二二
南町	二三八	二二七
久保町	一四七	一三一
胡摩澤	一四三	一三七
北白銀	一九一	一七七
仲間町	二六七	二五八

入營兵豫習

平町で九日に

平町にては本年度の入營兵及び補充兵に九日午前八時から平第一小學校講堂で左記の如く豫習教育をやることになり當日最後に證書交附式を舉行する筈

務、軍隊内務状況、入營心得(佐藤監事)官姓名並に呼稱方、言語動作、敬禮(大塚理事)術科
尙當日は筆記帳、鉛筆、晝食を携ひ服装は洋服或は團服の如き輕装で和服の場合には草履携帶の必要がある、因に町長、青年學校長、青年團長の訓示もある豫定である

徴兵適齡者の

届出期間改正

平町の該當者百六十六名
ウツカリすると罰さる

徴兵適齡者の届出は従來一月末日迄の定めであつたが今年からは改正されて十一月末日迄と繰上られたので平町では市内の該當者百六十六名に對し近く注意書を發するがうっかり例年通りと思込んで届出遅れると減収にあえぐ郡下農村の冷

耕地更新

二年に短縮

舗装道路の負擔金

紺屋町は減額されるか

昨日の平土木委員會は紺屋町國道舗装工事地元負擔金に就いて協議したが總工費は一萬五千圓で現在町から五千圓を支出し工事を開始して居り受益者の地元負擔は四、五丁目の同工事負擔金間口一間に對する三圓五十錢に對し約七八割見當十分の八に割當される模様で此處二三日中に議を纏め決定を見るべく現在地元側で協議中である

小名濱の

澤庵有望

東京へ進出

小名濱澤庵加工組合は昨年出荷總數三萬貫に上り昭和入絹の三百貫を始め全部地方に捌かれてゐるが本年は品質を一層向上して東京市場の販路を獲得すべし準備中で現在一日三樽の消費力を持つ大藏省の契約も見込みがあり奔走中とある

叔摺業打合せ

平穀物検査所管内の叔摺業者理事會は来る七日午前十時から平町丸友ホールに開會近く施される叔摺業取締規

意を郡農會は郡内各町村に示達したが川前、澤渡組合永戸組合を山間部としその他を平坦部として兩者を區別し調査を開始した

鈴木教諭出張

鈴木教諭は今日より三日間福島市公會堂で開催される國体明徴に關する憲法講演會へ出席した

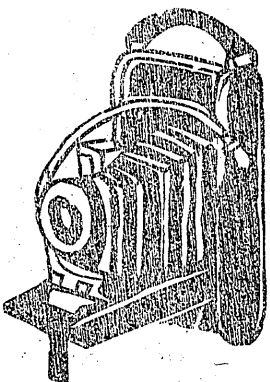
平町人事

- △六間門東條祐英氏二男祐孝
- △鎌田町一四渡邊清一郎氏三男進
- △堤ノ内二〇鈴木要吉氏長女フミ子
- △二丁目二三 武田健吉氏(三九)神谷村字馬場塚大平ハナ(三一)さん
- △八幡小路七九 岡部トキ(三〇)さん

秋深し!!!

旅行に!!!ピクニックに!!!散策に!!!

今こそカメラ 絶好のシーズン
素人に良く撮れるカメラとして
絶大の好評を博して居る



平驛前 いづみや玩具店
カメラ部

秋は殊に鮮明に良く寫る

いづみやの
MSカメラ
コダック型
一圓より...
十五圓迄各種

塗りこめた 防火の一色

けふ平の防火デー 唧筒の行進壯觀

本五日は昨報の如く火防デーに當る爲め平消防組は午前七時警鐘を打つて組員百五十名を平署前に召集、第三校庭に於て教練檢閲に次ぎ機械器具の点檢を行つて正午から一齊に防火検査あり模擬火災の演習等を壯觀

皮肉な火事

防火宣傳の最中

豊間の晝提灯から……

皮肉にも防火宣傳デーのけふ五日午前八時半頃豊間村大字豊間字八幡町七農速藤俊雄(三)方の二階建物置より發火したので十數町離れ

小學校が焼ける

避難演習頗る好成績

平町各小學校は今日五日の防火宣傳デーに際し夫々非常避難演習及び校長の訓話等あつたが各校の想定左の如くいづれも好成績で立會係員を感激せしめた

揮により逸早く第一校々庭裁判所前、道部東等の廣場に避難し學校長の講評を終了

△平第三校 校庭で舉行の平消防組員の演習參觀せしめ更に講堂で學校長より講話

尚警中、平商、警女の各中等學校も井上平町消防組頭及び學校長の講話があつた

給食保育

大野の寺院で

大野村の金光寺及び圓福寺の兩寺院は冷害減収に憐む農家の爲め此程農繁給食保育所を開設した

老人が……

國道で轢る

三日午後六時頃錦村大字大島

土藏破りの

共犯關係發覺

過般平署に檢査された土藏破り犯人浦尻織喜(三)は其の後平署で餘罪取調への結果植田町字石塚無職堀口安之助(三)と共謀して八月から四回に亘り銅線衣類等時價三百圓餘を窃取した事判

事變功勞下附

月見町十三居住平安北道巡査故大平貞松氏の寡婦ワカさんに對して今回故人の昭和六年より九年に至る事變功勞に依り從軍記章等の賞賜を下附されることになつた

小名古物買値

濱町古物商組合は最近朝鮮人營業者達が組合規定を無視した高値の買方を行ふので去る一日江名町に懇談會を開き買値の協定に就いて協議した

明日の部
今晩も北西の風
明日は北東の風
晴曇半す

今日晩の部
後六、〇〇 子供の時間
少女歌劇「菊の露」J.O.A
K唱歌隊
後六、二五 青年の時間
「時局問題と海軍志願」海軍大佐古田中博
後七、三〇 講演「最近の金約款問題」東北帝大助教授方正雄
後八、〇〇 明治天皇上野

明日の部
前七、〇一 英語講義(三)ノ六)長澤英一郎
前七、三〇 朝の修養「華嚴經」三河野法雲
前九、〇〇 家庭メモ
前九、一〇 料理献立「ありの實(梨)源氏草」小林忠雄
前一〇、三〇 婦人思想講座「宗教と哲學」(四)文學博士矢吹慶輝
後一〇、〇五 音曲「吹き寄せ」富士松ぎん蝶
後二、〇〇 家庭講座「紫外線と窓硝子」大阪市立衛生試験所長藤原九十郎
後二、四〇 小學生の時間

「科學博物館見學」東京科學博物館より中繼
後三、一〇 教師の時間「私が歩いて来た職業指導」(中)小原訓治
後六、〇〇 子供の時間
お話と劇「紅葉の歴史」大阪話劇協會
後六、二五 基礎英語講座(二十六)岡倉由三郎
後八、〇〇 清元「其小唄夢郎」(上)清元初太郎
美太夫 清元初太郎
三味線清元正壽太夫
後八、二五 お笑ひ課題
後八、五〇 映畫劇「黄昏地獄」千恵藏映畫映野瀬撮影所 片岡千恵藏 瀨川路三郎 他大勢

顛覆に遠慮して

平町から觀楓客が少い

他地からは押すなく

石城の耶馬溪を以つて天下に喧傳される紅葉の名所川前溪谷は去る三日明治節の

平裁判たより

△石城郡平町字田町貨物自動車營業神谷富五郎方雇人稲田龍(三)は去る六月六日午前十一時頃無免許でトラックを運轉自動車取締令違反で略式罰金五圓に處された
△平町紺屋町三自動車修繕
△石城郡小名濱町番地不詳小野善助方自動車運轉手四家子之吉(三)は水戸市向井町雷神社前道路で同町須藤富次を轉倒せしめ全治二週間の打撲傷を負はし業務上過失傷害罪で略式罰金三十圓に處された
△石城郡豊間村大字沼の内字新街七十八海産物商永山ヨテ(三)は物置に提灯を置き忘れて失火し居宅の一部を燒き略式罰金二十圓

佐々木商店

良品は所有者の誇り
山藥オランダカンピノ特約店
國定教科書販賣所
角忠
平公園前電話二三三番
業吉田茂一(三)は去る五月十八日より三日間の期間を

